

平成26年度 各種調査結果等を活用した学力向上の取組事例

事務所名	沿岸南部	学校名	大船渡市立 立根小学校	TEL	0192-26-3627
------	------	-----	-------------	-----	--------------

学調を活用した授業改善と日常における学力向上の取組

**【ねらい】**

各種調査結果から、明らかになった課題の克服のために、日常における学力向上の取組を充実させると共に、国語科を中心とした授業改善の取組を通して、学力の向上を図る。

**【具体的な実践】**

**分析で明らかになった課題や改善点を職員間で共有**

1 学調から分かる本校の課題及び取組の視点

全国学力・学習状況調査では、国語「知識」は全国・県平均を上回っているが、「活用」が全国・県平均を下回っている。知識では、「書くこと」「読むこと」の領域の正答率がやや低い。算数「数と計算」の中でも、割合や図形の学習内容が低くなっている。「活用」も全国平均を下回っている。

また、昨年度の岩手県学習定着度状況調査では、「読むこと」「書くこと」が下回っている。「読むこと」では、「段落相互の関係をとらえる」「段落の内容を要約する」ことが低くなっているため、本校の重点研究を通して授業改善に取り組む。「書くこと」では、「文章の構成に注意して意見を書く」ことを重点的に指導する。日常の授業において相手意識や目的意識を明確に持たせ、書く活動を意図的に取り入れる。さらに、復習を強化することで学力向上が期待できる事項については意図的に復習に取り組む。

2 課題解決に向けた具体的取組

(1) 授業改善について

- ・学習のスマールステップ化で基礎・基本の定着を図る。
- ・児童の実態を共通理解し、基礎的な内容については、年間を通じて継続的な指導を行う。
- ・学習課題の解決に向けて、児童が思考し自分の考えをノートにまとめたり説明したりする学習活動を意図的に設定する。

(2) 日常の取組について

①朝学習の活用

- ・漢字及び計算の練習・習熟
- ・各教科における復習
- ・週1回 視写を全学年で取り入れる。

②漢字・計算チャレンジの活用

- ・学期に1度、漢字・計算とも年3回取り組む。
- ・90点以上を合格とし、全員が1回で合格することを目指す。
- ・満点の児童には、満点賞を与える。

③家庭学習の習慣化と質の向上

- ・モデルとなる家庭学習ノートの提示
- ・家庭へ「家庭学習の取りませ方」について示す。学校区で共通事項として各家庭へ配布する。

④放課後学習ショートアップの活用

- ・授業の補充と深化を行う。
- ・復習、習熟、発展、各種調査等での落ち込み問題など、短時間であるが意図的に行う。
- ・特に落ち込みが大きい児童の個別指導
- ・問題作成においてアシストシートの活用

**職員間で**

- ・学調の落ち込み問題を共通理解し、指導方法の確認
- ・普段の取組と成果を全体で共有

3 授業改善の視点を生かした授業実践

各種調査結果から明らかになった課題の克服のために、全学年系統性を踏まえながら、より主体的な思考や判断を伴う学習となるよう、国語科「読むこと」の領域における授業改善に取り組む。

(1) 授業改善の視点

視点1・・・ねらいに基づいた単元を貫く言語活動を適切に位置付け、学ぶ目的を明確にする。

視点2・・・第2次の授業展開の工夫を図る。

- 視点2—①・・・個人課題を1次から設定し目的意識、課題意識の継続を図る。
- 視点2—②・・・並行読書を生かした学習活動
- 視点2—③・・・3次の活動に活用できる学習活動や学習プリント等の工夫
- 視点2—④・・・ペア・グループ活動を生かした検討の場の設定
- 視点2—⑤・・・どんな力がついたのか振り返る自己評価の設定

思考力・判断力を伴う学習展開をねらう。

(2) 授業実践例

①3年生の実践〈指導要領第3・4学年「読む」(1)イ及びエに関わる課題克服の実践〉

ア 県学調の誤答分析から

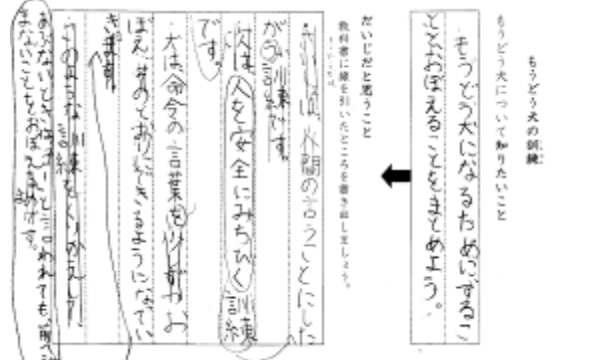
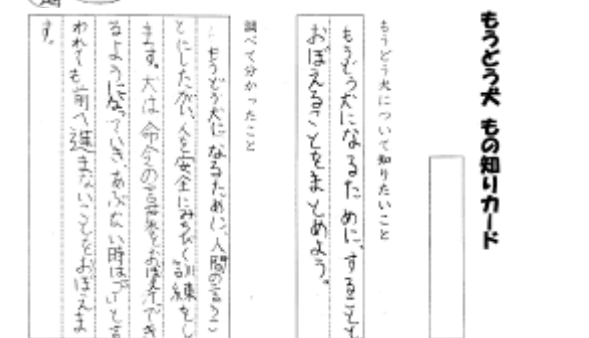
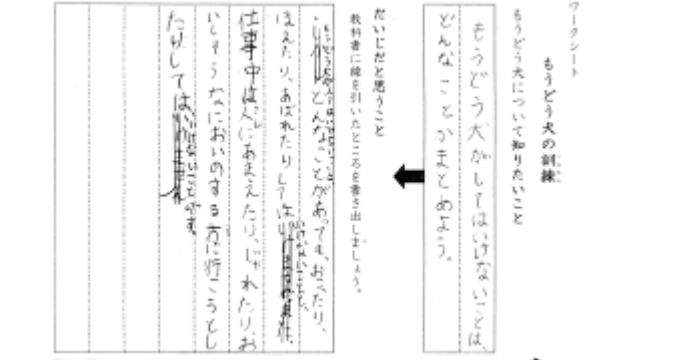
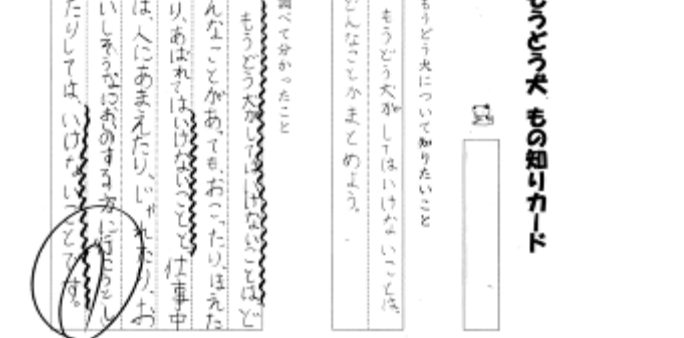
目的に応じて内容を正しく読む(第3・4学年「読むこと」(1)エ)に関わる問題に落ち込みが見られることを受け、授業改善の方向性として、児童自身が目的に応じて文章全体のどの部分に着目すればいいのか気付いたり、内容を自力で整理したりする指導を十分に行う必要があると考える。

イ 授業改善のねらい

- ・ 目的や必要に応じて重要語句を見付け、内容を要約する力を育てる。
- ・ 目的や必要に応じて要約の仕方も変わるという文章意識を育てる。

ウ 単元名 はたらく犬について調べよう 「もうどう犬の訓練」(東京書籍 3年下)

エ 単元指導 (全11時間)

段階	主な学習活動	授業改善に関わる指導のポイント						
第一 次 4時間	<p>視点1</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 働く犬について話し合い、学習課題「はたらく犬もの知りカードを作ろう」を設定し、学習計画を立てる。</li> <li>・ 教科書教材を読む共通課題と個人課題を話し合い設定する。</li> <li>・ 三次の言語活動に向けて並行読書を進める。</li> </ul> <p>視点2-②</p> <table border="1" data-bbox="558 560 957 884"> <tr> <td>○調べた人</td> <td>「社会でかつやくするイヌ」出版社 岩波文庫</td> </tr> <tr> <td>○調べた本</td> <td>「社会でかつやくするイヌ」出版社 岩波文庫</td> </tr> <tr> <td>○本がある場所</td> <td>図書室</td> </tr> </table>	○調べた人	「社会でかつやくするイヌ」出版社 岩波文庫	○調べた本	「社会でかつやくするイヌ」出版社 岩波文庫	○本がある場所	図書室	<p>視点2-①</p> <p>授業改善に関わる指導のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 働く犬について疑問を話し合い、<b>共通課題と個人課題</b>を設定し、教科書教材を読む目的を持たせる。</li> <li>※共通課題…もうどう犬について知りたいことを話し合い、その中から二つの課題を共通課題として設定。(2次 共通課題①、②)</li> <li>※個人課題…共通課題以外でもうどう犬について自分が知りたいことを個人課題として設定。</li> <li>・ 教師作成の「もの知りカード」の良さや作り方の手順を話し合い、学習計画を立てる。</li> </ul> <p>はたらく犬もの知りカード</p> <p>視点2-③</p>
○調べた人	「社会でかつやくするイヌ」出版社 岩波文庫							
○調べた本	「社会でかつやくするイヌ」出版社 岩波文庫							
○本がある場所	図書室							
第二 次 4時間	<p>『はたらく犬もの知りカード』を作ろう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 共通課題①「もうどう犬は、どんな人のために、どんな仕事をする犬なのか」を読み取り、要約する。</li> <li>・ 共通課題②「もうどう犬になるためにすること」を読み取り要約する。</li> <li>・ 個人課題「もうどう犬について自分が知りたいこと」を読み取り要約する。 (例)「人を安全にみちびく訓練で教わることをまとめよう。」 「もうどう犬がしてはいけないことはどんなことかまとめよう。」</li> </ul> <p>共通課題②</p>  <p>もうどう犬もの知りカード</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>全文から課題の答えを見付け要約する指導を行う。</b></li> <li>・ 自力解決(目的に応じた要約)の手順             <ol style="list-style-type: none"> <li>① 課題の答えとなる大事な文をノートに書き出す。                     <ul style="list-style-type: none"> <li>↓</li> <li>指導事項エ「文章の要点や細かい点に注意しながら読むこと」に対応する。</li> </ul> </li> <li>② 書き出した文章を補足したり言い換えたりして「もの知りカード」へまとめる。                     <ul style="list-style-type: none"> <li>↓</li> <li>指導事項エ「文章などを引用したり要約したりすること」に対応する。</li> </ul> </li> </ol> </li> <li>・ <b>課題解決において、なぜこの言葉や文が自分の要約に必要なか検討する活動としてグループ活動を設ける。</b></li> </ul> <p>視点2-④</p> <p>個人課題</p>  <p>もうどう犬もの知りカード</p> 						

第三 次	<ul style="list-style-type: none"> <li>第2次の学習を生かして自分が紹介したいはたらく犬について「はたらく犬もの知りカード」にまとめる。</li> <li>友だちと読み合い、感想を交流する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>単元を通して身に付けた力をねらいに沿って価値付けする。</li> <li><u>「答えを説明するための大事な言葉や文を見付ける力」「課題の答えを短く正しくまとめる力」がついたことを単元学習後にも振り返り、児童一人一人に実感させる。</u></li> </ul>							
	<p>3 時間</p> <p>はたらく犬もの知りカード</p>	<p>視点2-⑤</p> <table border="1"> <tr> <td>○調べた人</td> <td>はたらく犬の若手さん</td> </tr> <tr> <td>○調べた本</td> <td>学芸出版社</td> </tr> <tr> <td>・出版された年</td> <td>二〇〇四年</td> </tr> <tr> <td>○本がある場所</td> <td>大船渡市立図書館</td> </tr> </table>	○調べた人	はたらく犬の若手さん	○調べた本	学芸出版社	・出版された年	二〇〇四年	○本がある場所
○調べた人	はたらく犬の若手さん								
○調べた本	学芸出版社								
・出版された年	二〇〇四年								
○本がある場所	大船渡市立図書館								

② 6年生の実践〈指導要領第5・6年「読む」(1)ウに関わる課題克服の実践〉

ア 全国学調の誤答分析から

分かったことや疑問に思ったことを整理しそれらに関係付けながらまとめて書く(第5・6年「書くこと」(1)ウ、「読むこと」(1)ウ)に関わる問題において落ち込みが見られることを受け、授業改善の方向性として、中学年からの学習「目的に応じて必要となる情報を取り出し、それらに関係付けて読むこと」を踏まえた総合的な力を付けていく必要があると考える。

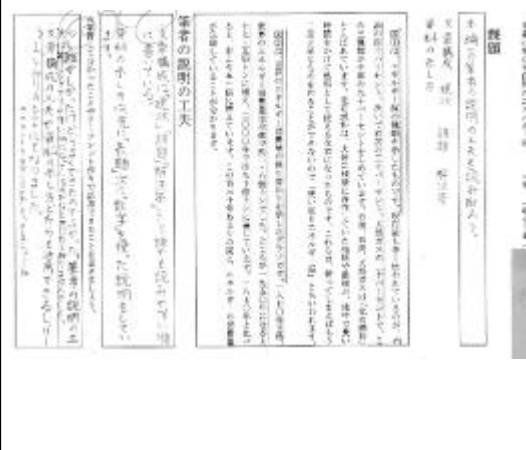
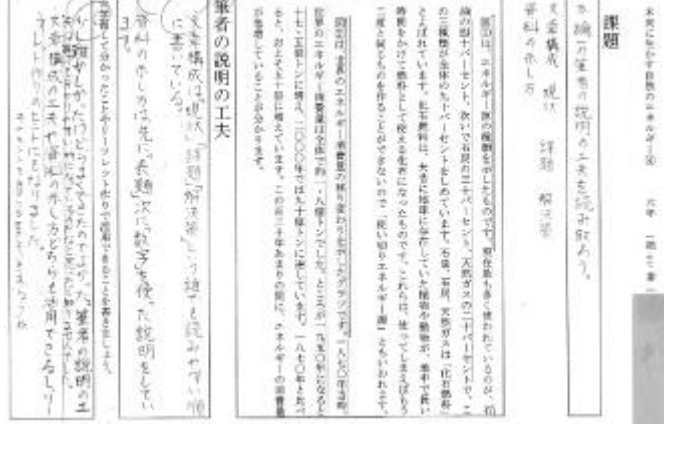



イ 授業改善のねらい

- 目的や必要に応じて集めた情報を整理しまとめる力を育てる。
- 効果的な文章構成、資料活用等を自分の課題解決に生かす力を育てる。

ウ 単元名 「持続可能な社会」について自分の考えを提案するリーフレットを作ろう  
未来に生かす自然のエネルギー (東京書籍 6年下)

エ 単元指導 (全10時間)

段階	主な学習活動	授業改善に関わる指導のポイント
第一 次 2 時 間	<p>視点1</p> <p>単元を貫く言語活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>身近な体験からエネルギー問題について話し合い、学習課題「『持続可能な社会』について自分の考えを提案するリーフレットを作ろう」を設定し、学習計画を立てる。</li> <li>個人課題を設定し、並行読書を進める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教師作成の「地熱発電で『持続可能な社会』を作ろう」をもとに、リーフレットの特徴、資料や具体例の示し方の効果等について話し合い、自分のリーフレット作りに生かしていけるよう学習の目的を持たせる。</li> <li>視点2-①及び2-②</li> <li>個人課題の解決のために本や新聞等から情報を収集する。→付箋紙を活用し情報の取り出しを工夫する。 ※個人課題…3次での言語活動に関わる児童一人一人の課題</li> </ul>
第二 次 4 時	<ul style="list-style-type: none"> <li>教材文の文章構成をつかみ、筆者の要旨をとらえる。</li> <li>筆者の資料の示し方や具体例の挙げ方に着目しながら、本論1を読む。</li> <li>筆者の資料の示し方や具体例の挙げ方に着目しながら、本論2を読む。</li> <li>自分の課題を見直し、リーフレットにまとめる内容の見通しを持つ。</li> </ul>	<p>視点2-③</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本論1、本論2の学習では、学んだことを生かして<u>単位時間の中でリーフレットにまとめる活動を設定する。</u></li> <li>既習「要約力」、本単元で付けたい力「論の進め方」「資料の効果的な活用」に対応する。</li> <li>第1次で設定した自分の課題にどう生かすかという点に<u>単位時間ごとに立ち返らせる。</u></li> <li>視点2-⑤</li> </ul>

間	<p>本論 I のワークシート</p> 	<p>本論 II のワークシート</p> 
第三 次	<p>『持続可能な社会について提案するリーフレットを作ろう。』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の課題を解決するのにふさわしい資料や情報を収集し整理する。</li> <li>第2次の学習を生かして個人課題をリーフレットにまとめる。</li> <li>リーフレットを読み合い、感想を交流する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>単元を通して身に付けた力をねらいに沿って価値付ける。</li> <li>自分の考えを提案するために効果的なリーフレットを作成できたかどうか振り返らせる。</li> </ul>
4 時間	<p>〈解決策〉</p> <p>小・中電力に巨大な産業を支える力にはなれませんが、身近な水力で電気の自給自足ができることを教えてくださいませ。</p> <p>小さな水力でも自給自足できることがわかりました。そのために私は、便利に水エネルギーも再生可能エネルギーで取りかえて水力発電などをやうせんし、持続可能な社会を目指して生活していきたいものです。</p>  <p>〈課題〉</p> <p>水力発電は、環境にやさしいエネルギーとして、世界中で注目されています。しかし、水力発電には、ダム建設による自然破壊や、魚類の移動障害などの課題があります。持続可能な水力発電を実現するために、どのような工夫が必要でしょうか。</p>	<p>これは、小水力発電の時代！</p> <p>六年一組</p>  <p>〈現状〉</p> <p>水力発電は、水が流れるときにエネルギーを生み出す。しかし、ダムを築くと、魚が上流から下流まで自由に移動できなくなる。また、ダムが壊れると、大きな被害が出る。持続可能な水力発電を実現するために、どのような工夫が必要か。</p>  <p>④ スリウニカワの絵</p>

【成果】

- 児童の発達段階に応じて個人課題の設定を工夫したことで、第1次から第3次まで児童の学ぶ目的意識が持続し、生き生きと思考しながら課題解決を行う児童の姿が見られた。また、教師の側も児童一人一人の課題解決の過程を見取りながら適切に支援することができ、ねらいに沿った評価ができた。
- 第2次における学習活動や学習プリント等を工夫したことで課題解決のための学習方法を学び、第3次では自力で課題解決を行うことができねらいに応じた力を付けることができた。
- 全校体制で朝活動やショートアップを活用し繰り返し補充指導を行ったことで、基礎的・基本的な内容の定着が図られた。今年度の県学調の結果にも反映された。
- 視写指導により書く速さがアップしたことが文字数調査で分かり、読み方も単語から文節、一文へと広がりを見せた。